

技術調査事前説明会

日時：平成24年9月7日（金）13:00～15:00

場所：国立霞ヶ丘競技場 第一クラブルーム（2階）

■ 次第

1. 趣旨説明

2. 技術調査員、技術調査支援チーム担当者の紹介

3. 技術調査の進め方説明

4. 確認項目・進め方に関する個別打合せ

- ・技術調査で確認する内容の確認
 - ・技術調査の進め方（役割・作業分担等）
 - ・スケジュールの調整
- 等

■ 配付資料

資料1 技術調査の実施体制



資料2 新国立競技場基本構想国際デザイン競技 審査のスケジュール

資料3 技術調査の進め方について

参考資料1 新国立競技場基本構想国際デザイン競技 技術調査の実施について

参考資料2 1次審査、2次審査の進め方

技術調査の実施体制

1. 専門アドバイザー・総括管理
 - (1) 氏名 和田 章
 - (2) 所属・役職 東京工業大学 名誉教授
日本建築学会会長
2. 建築（構造）分野
 - (1) 氏名 三井 和男
 - (2) 所属・役職 日本大学生産工学部 教授
3. 建築設備（メカニカル）分野
 - (1) 氏名 藤田 聡
 - (2) 所属・役職 東京電機大学工学部 教授
4. 建築設備（空調）分野
 - (1) 氏名 川瀬 貴晴
 - (2) 所属・役職 千葉大学大学院工学研究科 教授
建築設備技術者協会 会長
5. 建築設備（音響）分野
 - (1) 氏名 坂本 慎一
 - (2) 所属・役職 東京大学生産技術研究所 准教授
6. 施工・品質分野
 - (1) 氏名 野口 貴文
 - (2) 所属・役職 東京大学工学系研究科建築学専攻 准教授
7. 都市計画分野
 - (1) 氏名 関口 太一
 - (2) 所属・役職 (株)都市計画設計研究所 代表取締役
 - (3) 実績等 
8. 積算分野
 - (1) 氏名 木本 健二
 - (2) 所属・役職 芝浦工業大学工学部建築土木学群建築工学科 教授
9. 事業計画分野
 - (1) 氏名 東 一洋
 - (2) 所属・役職 (株)日本総合研究所 都市・地域経営戦略グループ シニアマネージャー
 - (3) 実績等 
10. 建築法規（防災計画）分野
 - (1) 氏名 河野 守
 - (2) 所属・役職 東京理科大学工学部第二部建築学科 教授

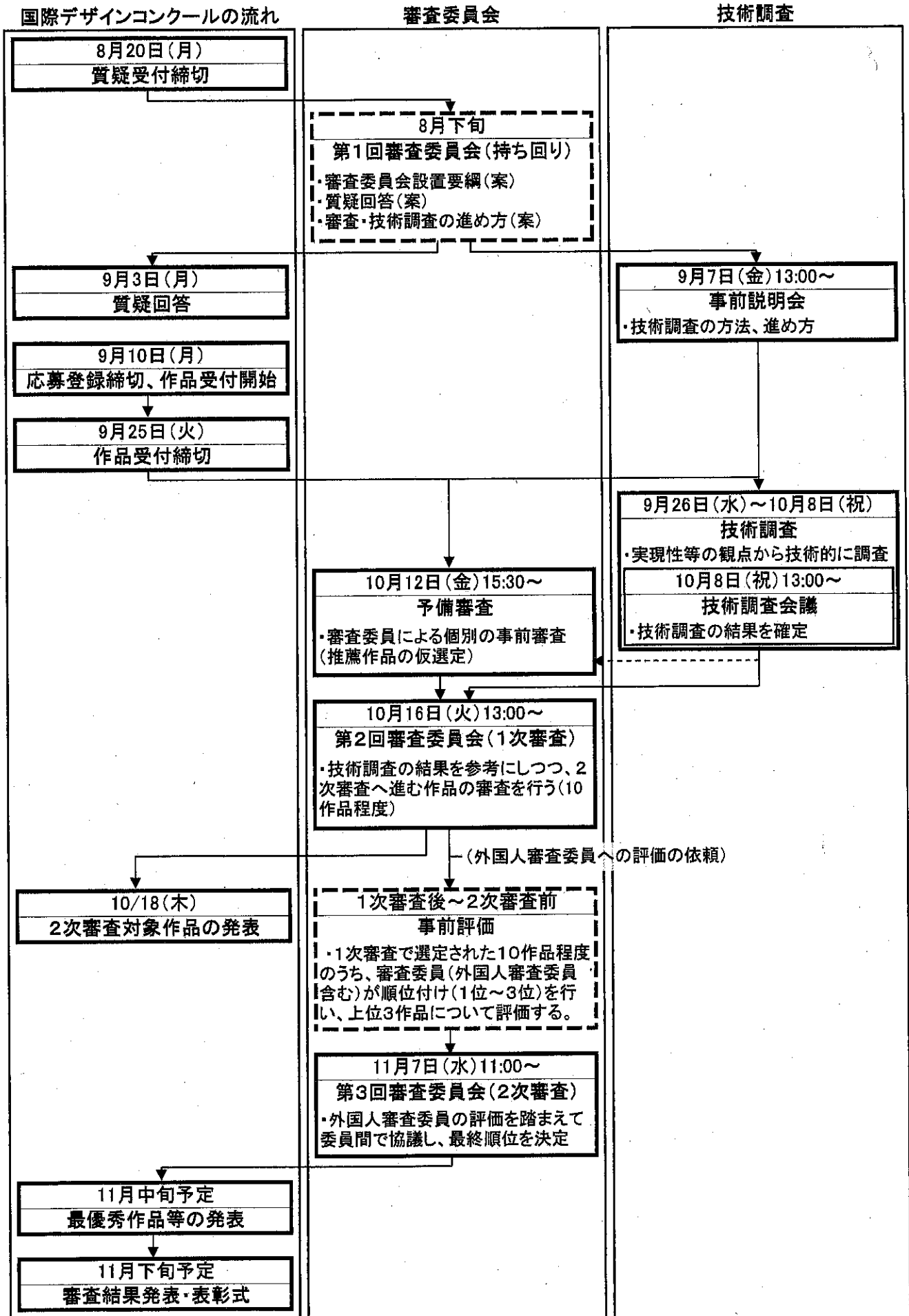
技術調査支援チーム体制

	氏名	所属・役職	担当
1	三浦 幸雄	都市計画設計研究所 代表取締役	【支援チーム総括】 建築・都市計画
2	薄井 匡	都市計画設計研究所 室長	都市計画
3	小野 道生	都市計画設計研究所 室長	都市計画
4	平井 一步	都市計画設計研究所	都市計画
5	梶原 千尋	都市計画設計研究所	【支援チーム総括補佐】 都市計画
6	畑戸 龍夫	有限会社空間企画設計 代表取締役 (とし研協力事務所)	特殊構造 施工・積算
7	二宮 利文	NTTファシリティーズ 構造エンジニアリング部門 担当課長	建築(構造) 建築設備(メカニカル)
8	宮野 隆行	NTTファシリティーズ プロジェクト設計部門 社員	建築設備(メカニカル) 都市計画
9	田窪 高蔵	NTTファシリティーズ プロジェクト設計部門 担当課長	建築設備(空調)
10	高田 秀明	NTTファシリティーズ プロジェクト設計部門 主査	建築設備(空調)
11	浦野 仁嗣	NTTファシリティーズ プロジェクト総括部門 担当課長	建築・環境(音響)
12	石原 智也	NTTファシリティーズ CM部 部門長	【支援チーム副総括】 建築・環境(音響) 都市計画
13	梅澤 恭太	NTTファシリティーズ CM部 担当課長	施工・品質
14	外尾 政信	NTTファシリティーズ 建築デザイン部門 主査	建築法規(防災計画)
15	中山 和之	NTTファシリティーズ CM部 社員	積算
16	佐藤 匠	NTTファシリティーズ 建築デザイン部門 社員	都市計画
17	田中 靖記	日本総合研究所社会・産業デザイン事業部 社会基盤イノベーショングループ/グローバルマネジメント グループマネージャー	事業計画

#1: 三浦は、支援チームマネジメントの他、建築一般及び都市計画について広く担当し、技術調査支援を下支えする。(専門分野を固定しない。)

#6: 畑戸は、特殊構造の経験を基に、施工性や建設に要する費用等について広く担当し、事業の実現性について技術調査を下支えする。(関係分野を補佐。)

新国立競技場基本構想国際デザイン競技 審査のスケジュール



技術調査の進め方等について

1. 技術調査の目的

一次審査を行うに当たって、1) 作品の実現性、2) 募集要項に規定している与条件及び法令等の充足状況について技術的な確認を行う。

2. 技術調査の方法**(1) 調査事項**

- ・技術調査では以下の事項について確認を行う。【別紙1「技術調査の確認リスト」参照】
 - 1) 応募者が提出する図書「4. テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的な確認が必要な事項
 - 2) 募集要項「II. デザイン提案条件」及び法令等に規定している事項

(2) 調査方法

- ・応募者が提出する図書のうち「2. デザイン説明」及び「3. 施設建築計画・概略設計」については全ての技術調査員が確認を行う。
- ・「テーマ別の計画提案」については、各技術調査員が専門性に即した確認事項を中心に技術的な確認を行う。【別紙2「技術調査員と確認事項の対応関係」参照】
- ・技術調査員は実現性等の確認の結果を「○・△・×」で整理する。

○	： 実現可能
△	： 設計段階で重大な調整が必要
×	： 明らかに実現不可能

3. 技術調査の進め方

- ・技術調査員が個別に確認し、「○・△・×」を付す。(詳しい確認が必要な事項は事前又は事後に事務局が対応)
- ・「×」を付した項目については、技術調査会議にて専門アドバイザーを含めて技術調査員全体で協議し「○・△・×」を決定する。
- ・「○」または「△」を付した項目についても、複数の観点から検討が必要な項目については、技術調査会議にて協議する。

【参考】応募者が提出する図書（募集要項）

1. パース (A3版4枚)
2. デザイン説明 (A1版1枚)：パース毎にコンセプト説明
3. 施設建築計画・概略設計 (A1版1枚)：計画設計主旨、配置図、各階平面図・断面図、アクセス図
4. テーマ別の計画提案
 - ①臨場感あふれる観覧席に関する考え方
 - ②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方
 - ③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方
 - ④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)
 - ⑤構造計画、屋根の架構及び開閉機構に関する考え方
 - ⑥事業費(建物本体/外構部分)及び工期に関する考え方

技術調査の確認リスト【総括表】

(別紙1)

項目	
1)「テーマ別の計画提案」に示した項目	
①臨場感あふれる観覧席に関する考え方	可
②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方	ア 細
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方	音
	ホ 専
④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギーの多重化及び緑化等)	省 す
⑤構造計画、屋根の架構に関する考え方	構
	屋 構
⑥事業費及び工期に関する考え方(事業費は、建物本体と外構部分を分けて提示すること。)	事 費
	工
2.「Ⅱ.デザイン提案条件」に規定している	
施設建築物の配置(配置及び高さ)	
土地利用構成	
施設構成	
スタジアムへのアクセス	
公園面積、公開空地の割合	
緑化・環境配慮・防災対策	
その他、法令に抵触することが明らかな事	

技術調査の確認リスト【総括表】

記載例

項目	
1)「テーマ別の計画提案」に示した項目	
①臨場感あふれる観覧席に関する考	○
②観客等の周辺駅からスタジアムへ セス及び入退場動線処理に関する考	○ 容を実現するための必須 ○」を記載
③ホスピタリティ機能及びスポーツ以 スタジアムの利活用に関する考え方	○ ていない (検討)が必 載
④環境配慮に関する考え方(省エネ、 ルギーの多重化及び緑化等)	○
⑤構造計画、屋根の架構に関する考	○ 計段階で重大な調 を記載 設計段階で維持管理も考慮に入
⑥事業費及び工期に関する考え方(○ は、建物本体と外構部分を分けて提 こと。)	○ 既算事業費を著しく超えることが 切な計画とするよう改善が必要
2.「Ⅱ.デザイン提案条件」に規定して	○ 設計段階でも修正が明ら は「×」を記載
施設建築物の配置(配置及び高さ)	○ 超えている(最高建物高さ100m)
土地利用構成	○ いる
施設構成	○ が、設計段階で調 △」を記載
スタジアムへのアクセス	○
公園面積、公開空地の割合	○ 面積の約36%)
緑化・環境配慮・防災対策	○ ていないが、設計 必要な項目は
その他、法令に抵触することが明らか	○

技術調査員と確認事項の対応関係

技術調査員(専門分野)	担当する確認事項と観点	技術調査支援チーム
1)「テーマ別の計画提案」に示した項目のうち技術的な確認が必要な事項	<p>総括</p> <p>「⑤構造計画、屋根の架構及び開閉機構に関する考え方」のうち構造計画に関すること</p> <p>「①臨場感あふれる観覧席に関する考え方」のうち可動客席に関すること</p> <p>「⑤構造計画、屋根の架構及び開閉機構に関する考え方」のうち屋根の開閉機構に関すること</p> <p>「④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)」のうち省エネ技術に関すること</p> <p>「③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方」のうち音響環境に関すること</p> <p>「⑥事業費(建物本体/外構部分)及び工期に関する考え方」のうち工期に関すること</p> <p>「②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方」のうちアクセス及び入退場動線処理に関すること</p> <p>「⑥事業費(建物本体/外構部分)及び工期に関する考え方」のうち事業費に関すること</p> <p>「③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方」のうちホスピタリティ機能等、スタジアムの事業計画に関すること</p>	<p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p>
2) 募集要項「Ⅱ. デザイン提案条件」及び法令等に規定している事項	<p>募集要項「Ⅱ. デザイン提案条件」に記載されている以下の事項</p> <p>施設建築物の配置(配置及び高さ)</p> <p>土地利用構成</p> <p>施設構成</p> <p>スタジアムへのアクセス</p> <p>公園の再配置及び公開空地の確保</p> <p>緑化・環境配慮・防災対策</p>	<p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p>
※技術調査員は担当する確認事項以外にも、必要に応じて他の確認事項についても所見を付すことができる。	<p>法規(建築基準法(特に避難の観点)、消防法等)に関すること</p>	<p>■</p>

※技術調査員は担当する確認事項以外にも、必要に応じて他の確認事項についても所見を付すことができる。

技術調査実施予定日の事前確認（依頼）

（記入方法等）

- ・ 技術調査を実施する予定の時間帯を以下の「技術調査実施予定日調査表」に記入願います。 （例）14:00～17:00
- ・ 会場は9:00～17:00（21:00まで延長可能）の間、使用可能です。（土日祝日も可）
- ・ 10/5は専門アドバイザーが技術調査の結果を確認しますので、できるだけ9/26～10/4の期間に調査を実施していただきますようお願いいたします。
- ・ 専門アドバイザー、技術調査員の方々にお集まりいただき技術調査の結果を確定させるための技術調査会議を10/8（月・祝）に開催いたします。
- ・ 審査委員による予備審査会を10/12（金）に実施いたしますので、必要に応じて出席をお願いいたします。
- ・ 技術調査の実施方法によっては、技術調査支援チームの担当者とスケジュールを調整のうえ、記入願います。

（本件担当）

文部科学省大臣官房文教施設企画部参事官付 山本、水澤

TEL：03-6734-2321

E-Mail：yamasei@mext.go.jp（山本）

mizusawa@mext.go.jp（水澤）

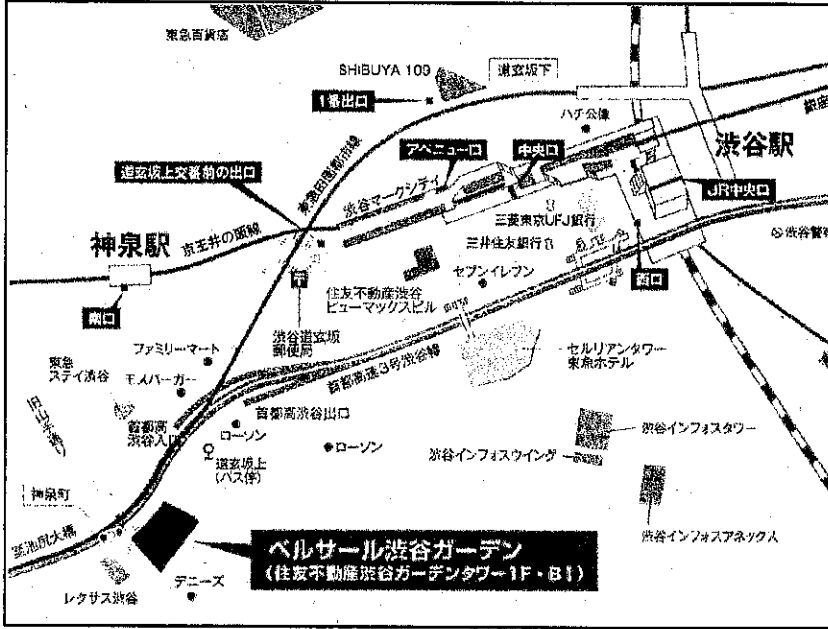
技術調査実施予定日調査表

氏名 _____

	対応可能な時間帯	備考
9/26(水)		技術調査員による確認作業
27(木)		"
28(金)		"
29(土)		"
30(日)		"
10/1(月)		"
2(火)		"
3(水)		"
4(木)		"
5(金)		専門アドバイザーによる確認
6(土)		"
7(日)		"
8(祝)	13:00～	技術調査会議
9(火)		有識者委員による作品確認
10(水)		"
11(木)		"
12(金)	15:30～	審査委員会による予備審査会

新国立競技場基本構想公開デザイン競技
技術調査の実施について

日時：9月26日(水)～10月8日(月・祝)
9：00～17：00 (21：00まで延長可能)
場所：ベルサール渋谷ガーデン1Fホール

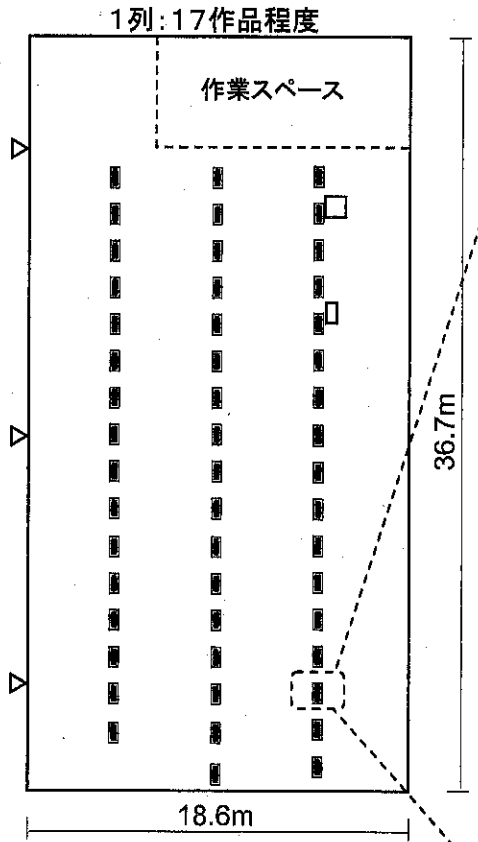


住所：東京都渋谷区南平台町16-17 住友不動産渋谷ガーデンタワー

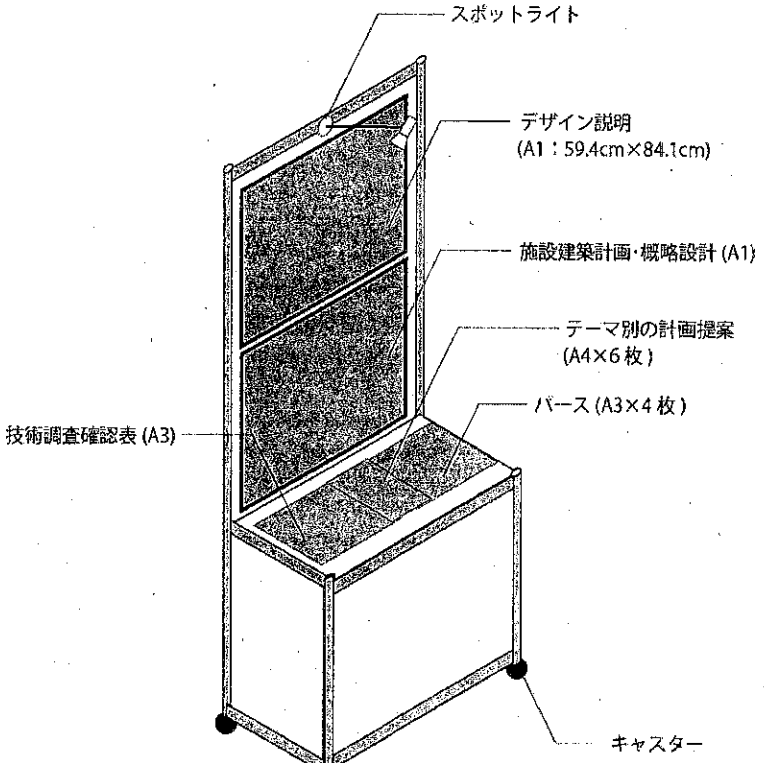
- 神泉駅(京王井の頭線)南口より徒歩6分
- 渋谷駅(JR線・銀座線・東急東横線)道玄坂上交番前の出口より徒歩7分/西口より徒歩10分
- 渋谷駅(半蔵門線・東急田園都市線・副都心線)1番出口より徒歩9分
- 池尻大橋駅(東急田園都市線)東口より徒歩10分



◆会場内の配置イメージ (50作品を想定)



<作品の展示イメージ>



高さ: 2150mm × 巾: 1030mm × 奥行: 535mm
(展示台の高さ: 800mm)

1次審査、2次審査の進め方(案)

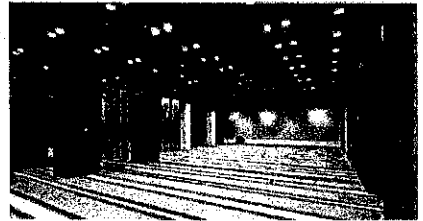
予備審査

○ 審査員が個々に提出された全ての作品を確認し、推薦する作品を仮選定する(推薦する作品数は制限しない)。
→別紙1「仮推薦作品記入表」に記入

- ・推薦作品にマグネット等(委員毎に色分け)を付す
- ・仮推薦結果を集計

日時:9月26日～10月12日
9:00～17:00

※技術調査と並行して実施
場所:ベルサール渋谷ガーデン



1次審査

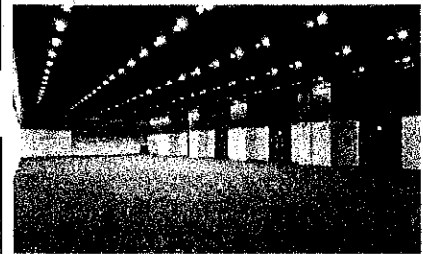
1. 各審査委員の推薦作品や技術調査の結果等を参考に、推薦する作品を再確認する(仮推薦作品の変更も可)。
【1時間程度】 →別紙2「審査委員仮推薦作品一覧」
別紙3「仮推薦数上位作品一覧」参照

2. 審査委員の間で協議し、推薦数が上位の作品及び審査委員が強く推薦する作品の中から、2次審査に進む10作品程度を選定する。
【3時間程度】

- ・1次審査で選定された作品(10作品程度)の資料を審査委員(外国人審査委員を含む)に送付

日時:10月16日(火)
13:00～17:00

場所:ベルサール秋葉原



事前評価

○ 1次審査で選定された10作品程度のうち、各審査委員が順位付け(1位～3位)を行い、上位3作品について評価(A・B・C・D)及びコメントを記載する。
→別紙4「評価結果記入表」に記入

- ・評価結果を集計

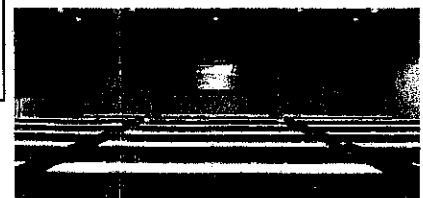
1次審査後～2次審査前
各審査委員が個別に評価

2次審査

○ 各審査委員の評価・順位付けを参考に審査委員間で協議し、最終順位を決定する。
→別紙5「審査委員評価結果一覧」
別紙6「作品別評価結果一覧」参照

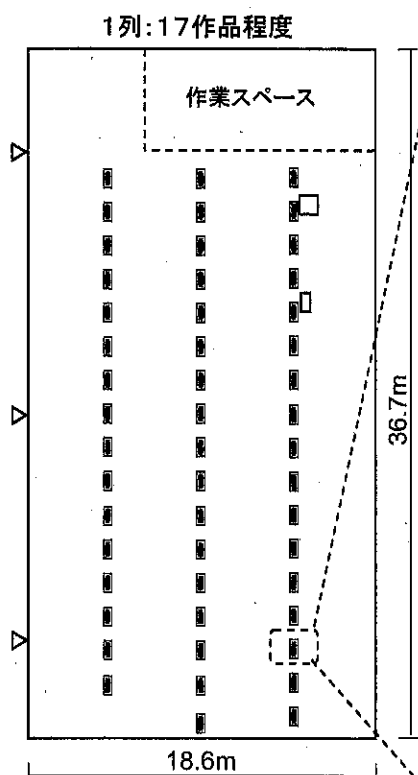
日時:11月7日(水)
11:00～16:00

場所:TEPIA

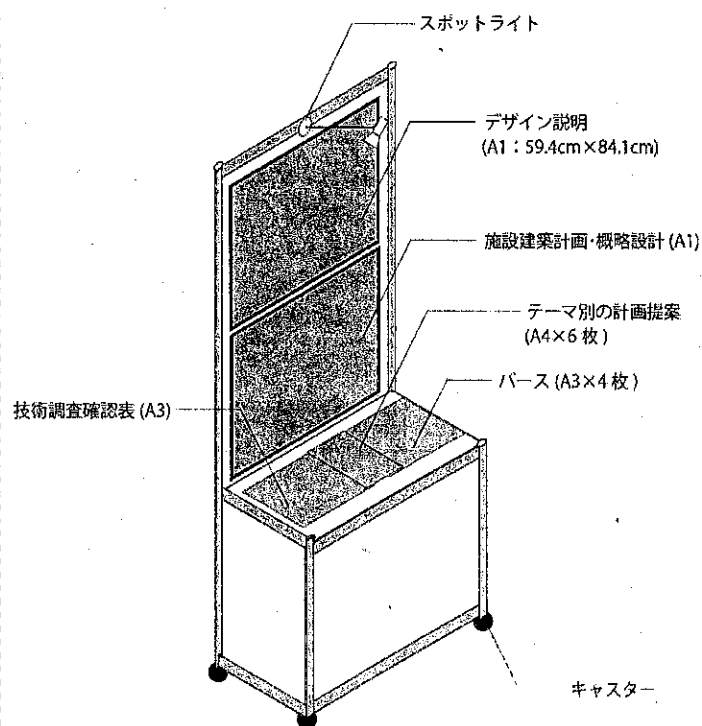


◆会場内の配置イメージ(50作品を想定)

■予備審査

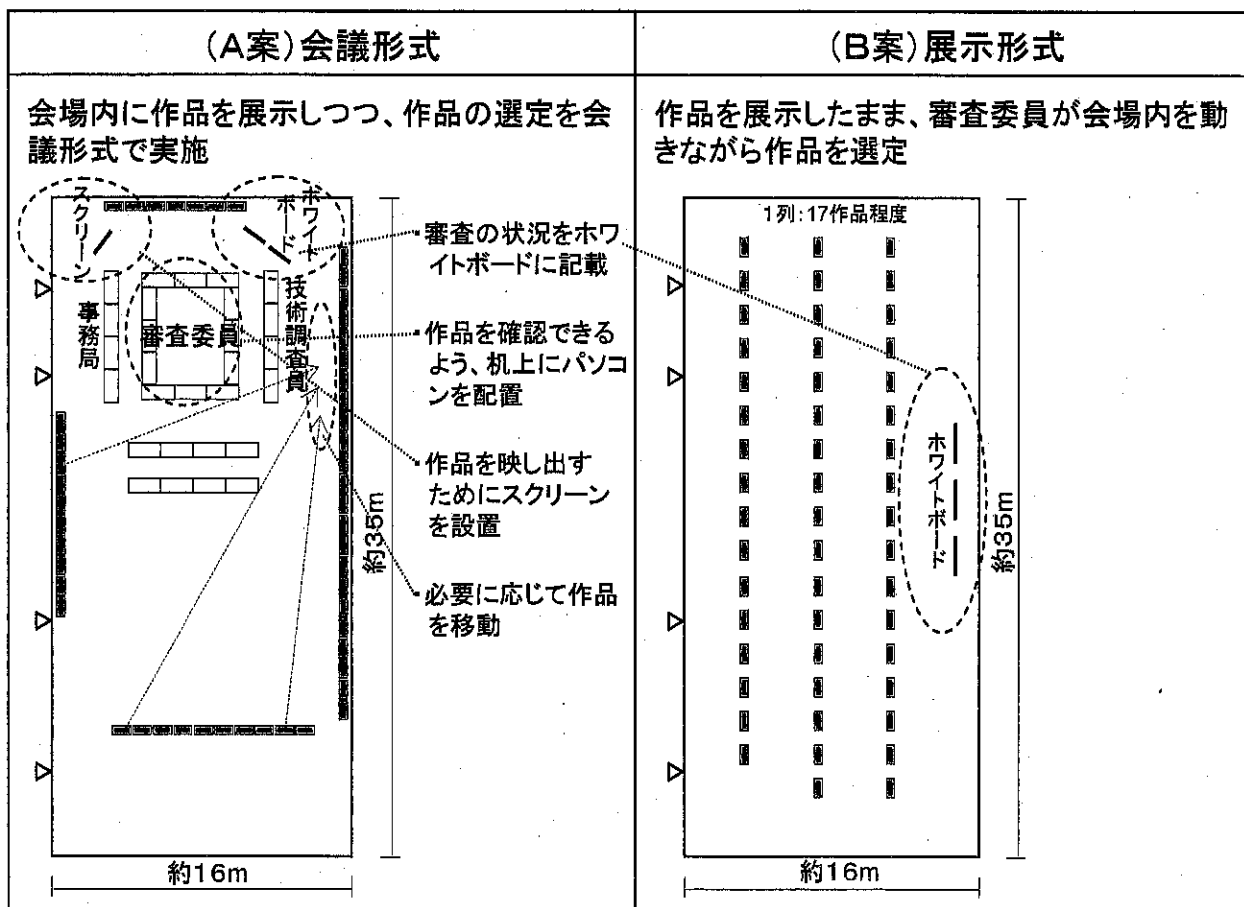


<作品の展示イメージ>



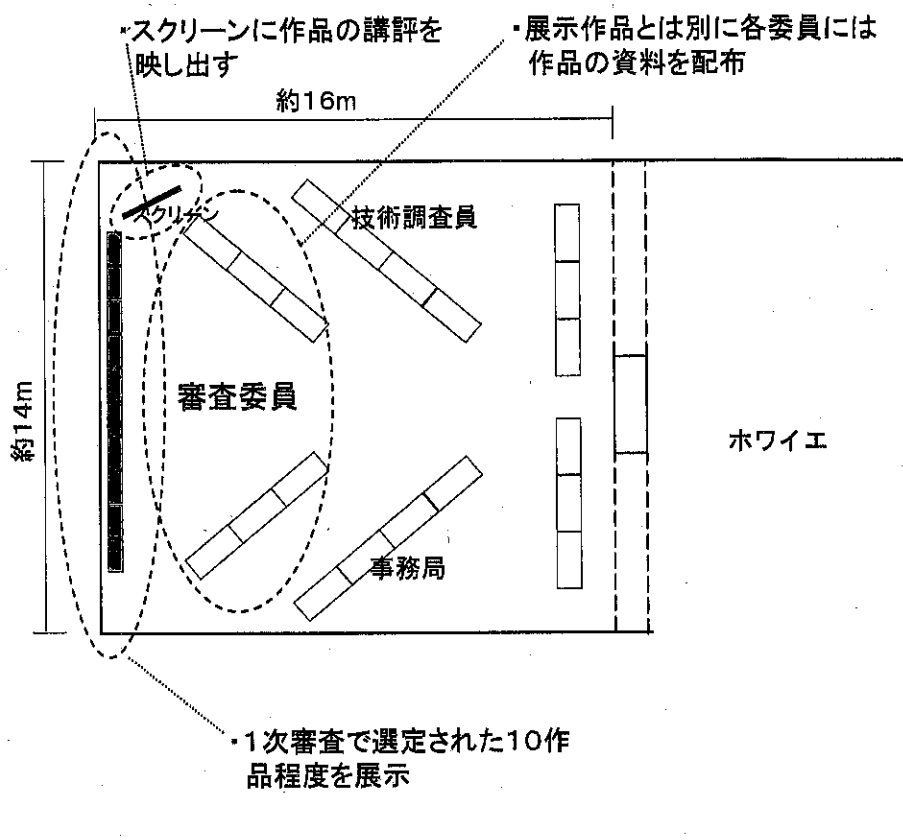
高さ:2150mm × 巾:1030mm × 奥行:535mm
(展示台の高さ:800mm)

■1次審査



◆会場内の配置イメージ(10作品を想定)

■2次審査



〇〇委員

仮推薦作品記入表

- ・ 推薦する作品の著作者登録番号及び推薦理由を記載してください。
- ・ 推薦する作品の数に制限はございません。（推薦数が10を超える場合は枠外に記載してください。）

	著作者登録番号	コメント等
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

審査委員仮推薦作品一覧

〇〇委員

評価結果記入表【評価1位作品】

著作者登録番号

応募者名

・1次審査で選定した10作品のうち、評価が1位の作品について、以下の4つの観点について、A～D(Aを最高評価とする)で評価し、評価すべきポイント等がございましたらコメントを記入してください。

審査の観点	評価	コメント(任意)
未来を示すデザイン	(A・B・C・D)	
スポーツ・イベントの際の実現性	(A・B・C・D)	
技術的チャレンジ	(A・B・C・D)	
実現性	(A・B・C・D)	
その他コメント (評価すべきポイント等)		

〇〇委員

評価結果記入表【評価2位作品】

著作者登録番号

応募者名

・1次審査で選定した10作品のうち、評価が2位の作品について、以下の4つの観点について、A～D(Aを最高評価とする)で評価し、評価すべきポイント等がございましたらコメントを記入してください。

審査の観点	評価	コメント(任意)
未来を示すデザイン	(A・B・C・D)	
スポーツ・イベントの際の実現性	(A・B・C・D)	
技術的チャレンジ	(A・B・C・D)	
実現性	(A・B・C・D)	
その他コメント (評価すべきポイント等)		

〇〇委員

評価結果記入表【評価3位作品】

著作者登録番号

応募者名

・1次審査で選定した10作品のうち、評価が3位の作品について、以下の4つの観点について、A～D(Aを最高評価とする)で評価し、評価すべきポイント等がございましたらコメントを記入してください。

審査の観点	評価	コメント(任意)
未来を示すデザイン	(A・B・C・D)	
スポーツ・イベントの際の実現性	(A・B・C・D)	
技術的チャレンジ	(A・B・C・D)	
実現性	(A・B・C・D)	
その他コメント (評価すべきポイント等)		

審査委員評価結果一覧

		1位	2位	3位
■	■			
■	■			
■	■			
■	■			
■	■			
■	■			
■	■			
■	■			
■	■			
■	■			

作品別評価結果一覧

著作者登録番号:A1234
 応募者名:〇〇〇〇

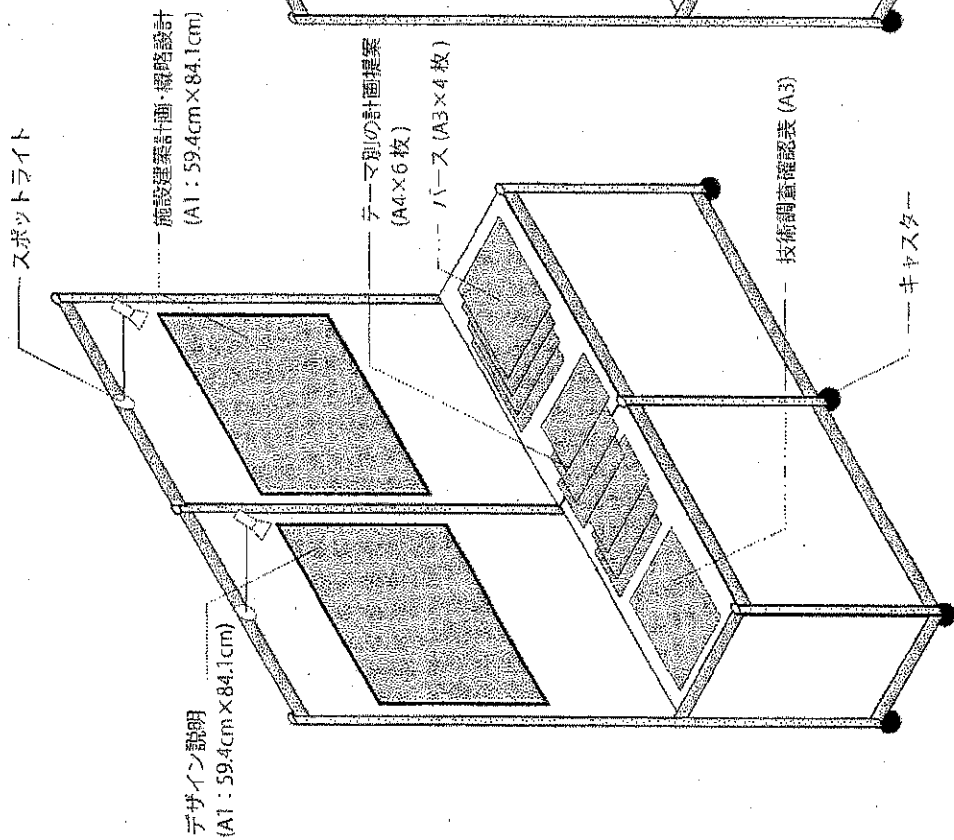
	未来を示すデザイン	スポーツ・イベント の際の実現性	技術的チャレンジ	実現性	順位 (1~3位のみ)
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					

著作者登録番号:B5678
 応募者名:□□□□

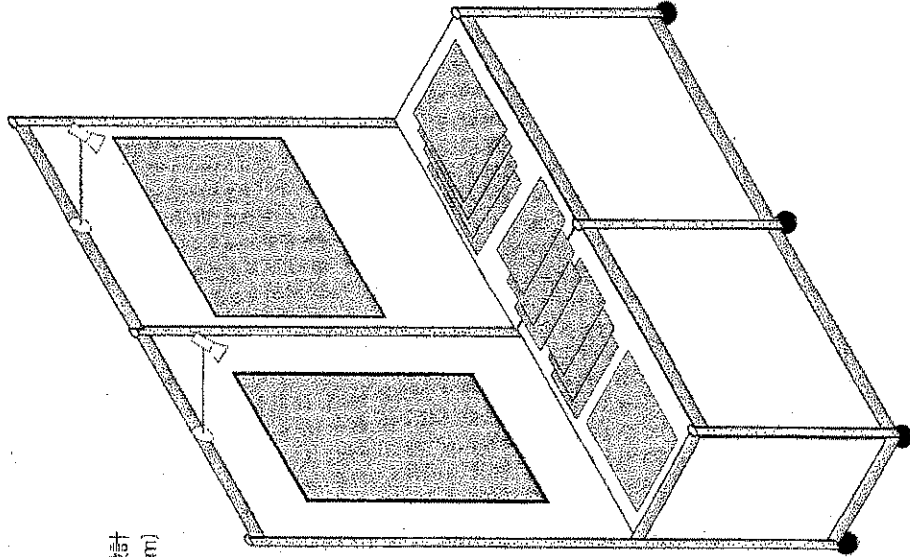
	未来を示すデザイン	スポーツ・イベント の際の実現性	技術的チャレンジ	実現性	順位 (1~3位のみ)
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					

■ 作品の展示イメージ

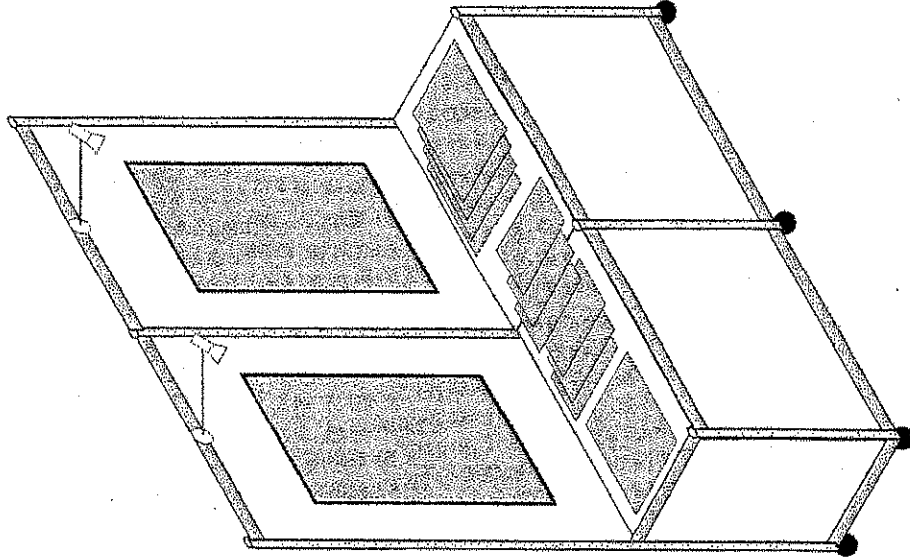
A- ノーマルタイプ
(A1横×2枚の場合)



B- 変則タイプ-1
(A1横×1枚、A1タテ×1枚の場合)

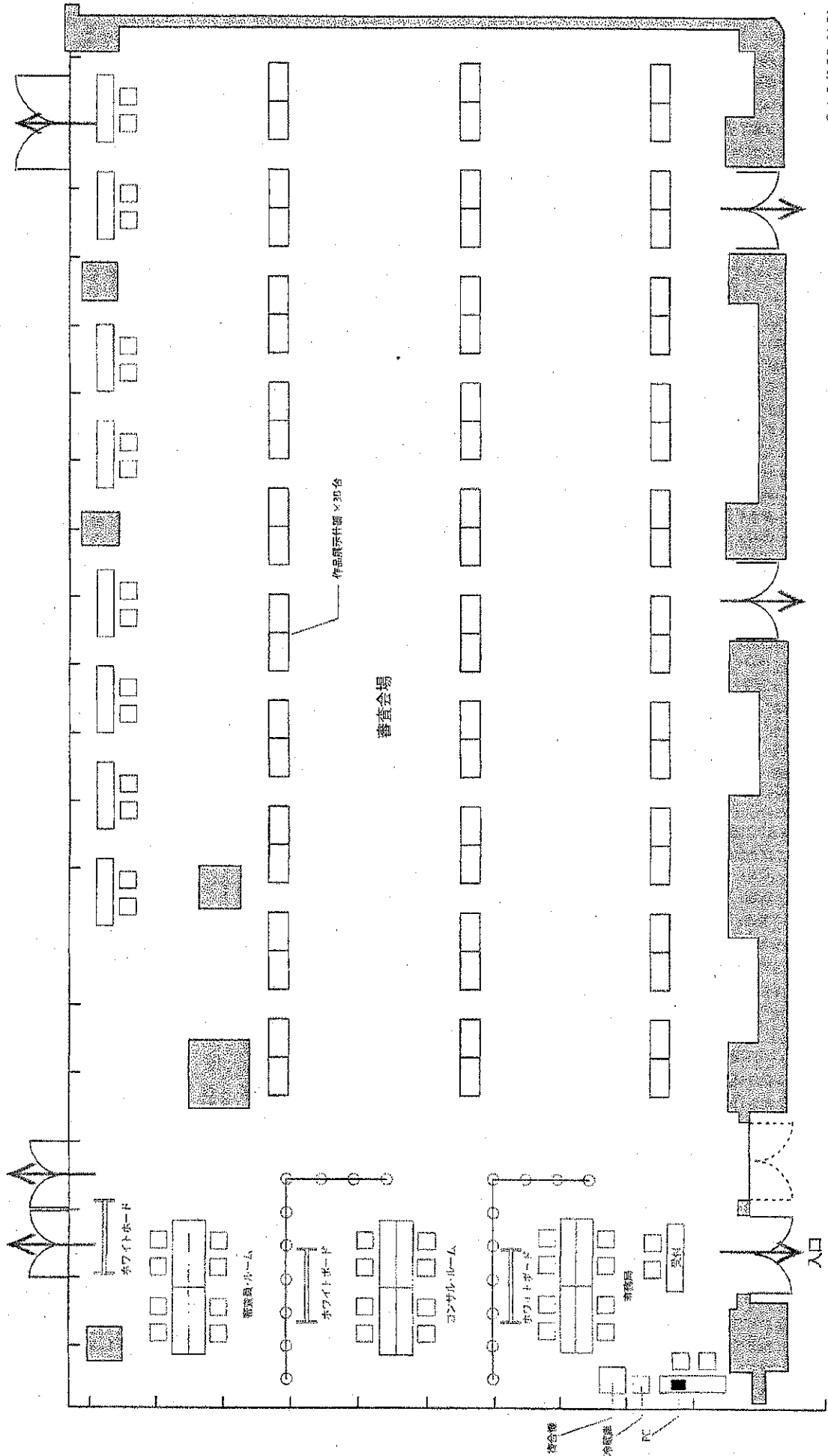


C- 変則タイプ-2
(A1タテ×2枚の場合)



高さ：2150mm×市：2020mm×奥行：535mm
(展示台の高さ：800mm)

■新国立競技場基本構想国際デザイン競技
技術調査及び予備審査会場・バルサール渋谷ガーデン 1F ホール
2012年9月25日～10月13日



S : 1/100 (A3)